市民アイ

元気な笑顔でおもてなし

ボランティアグループ 陽だまり 代表者 山下 須美子 さん

寒風が吹く非常に寒い日でも、陽だまりのような笑顔をもとめ、人々が集う温かな場所がある。その場所は…いきいきサロン。その主催者であるボランティアグループ「陽だまり」の山下さんは、活動への思いを語ります。

「来ていただいた方々の笑顔を見ると、こちらも元気をいただきます。毎回開催するのが楽しみです」と語る山下さん。

陽だまりの結成について聞くと、山下さんが仕事を退職してから「有田市の発展につながるようなボランティアができないものか」と考えていたとき、サロン開催の話が舞い込み、知り合いに声をかけ、結成されたと同時に、現在主な活動となっている「いきいきサロン」の開催に至りました。しかし、最初はあまり人もよらず大変だったとのこと。「人が集まれる良い方法は無いものかしら」と考えていた矢先、公民館で開催されている介護予防体操「いきいき教室」で参加者にコーヒーを出す機会があり、そこで喜んでもらえたことをきっかけに、いきいきサロンに来られる方が徐々に増えてきたと言います。

人との出会いが大切

少子高齢化が進むにつれ、一人暮らしのお年寄りの方が増えている現状に危機感を募らせる山下さんは、「有田市は、人とのつながりがまだ保たれているように思いますが、昔のことを思えば薄れているように感じます。人とのつながりが途絶えてしまうのは本当に悲しいこと。人との出会いが、つながりの輪を広げ、その人の心を豊かにする。話をしなくても聞くだけでも良いからとにかく出会うことが大切」と話されます。「つながりの輪が人を元気にし、地域が元気になる。とにかく有田市を明るく元気にすることが、発展につながると信じています。私たちも微力ながら、その一役を担えているのかなと思うと嬉しい限りです」。

「いきいきサロン」に参加された皆さんは、本当に生き生きとしていて、温もりを感じました。お話を伺うと「こういった場所が無いと、会える人にも会えない。本当にうれしいし、ありがたいんやよ」と笑顔で答えてくれました。今月9日には有田みかん海道マラソンで「陽だまり」からコーヒーが無料配布されます。皆さんもその温もりに触れられてみてはいかがですか？

（聞き手　吉野・古川）

陽だまり

平成19年4月結成。会員20名いきいきサロンを定期的に開催しているほか、有田市児童通所支援事業所さくらんぼでの赤ちゃん保育、有田みかん海道マラソンでのコーヒー無料配布など、地域におけるつながりの輪を広めるべく、積極的に活動されています。

ーあなたが見た「まちの誇り」をお聞かせくださいー

本市では、意外と知られていない名所や史跡、地道な活動をされている人など、まちの誇りとなりうる情報を募集しています。

■連絡先／〒649-0392 有田市箕島50　有田市役所秘書広報課　TEL／0737-83-1111　E-Mail／hisho@city.arida.lg.jp

広告

観光ストリートVol.1 ー糸我稲荷神社ー

昨年12月、有田市公式アプリ第２弾『漁獲王 in Arida』がリリースしてから早２ヶ月。

アプリのダウンロード数も好調（１月16日現在2897ダウンロード）で、“太刀魚のぼり（うなぎのぼり）”です。

そのアプリでも紹介されている本市の観光スポットを、市民の皆さんにも再認識していただきたいと思い、観光ストリートというシリーズで紹介していきます。第１回目は糸我稲荷神社です。

稲荷神社と言えば、京都の伏見稲荷大社を思い浮かべる方が多いと思います。日本各地にある神道上の稲荷神社の総本社ですからね。でも、日本最初の稲荷神社はこの糸我稲荷神社であることを皆さんご存知ですか？

現在残っている資料「糸鹿社由緒」によると、創建は「37代孝徳天皇白雉（はくち）３年壬子（じんし）の春、社地を正南森に移し、糸鹿社と申す」とあり、白雉３年(652年)とは伏見稲荷大社の創建より60余年も前にさかのぼることから、糸我稲荷神社が日本最初の稲荷神社と言われ、社前鳥居に「本朝最初(日本最古)稲荷大神社」の額が上がっています。

平安時代には白河上皇が熊野参詣の際、立ち寄ったとされる記録も残っており、駕籠（かご）を止め休憩したところには石碑がまつられています。

御祭神は「倉稲魂神(うかのみたまのかみ)」で、「五穀豊穣（ほうじょう）」、「商売繁盛」、「諸災解除」の神様です。

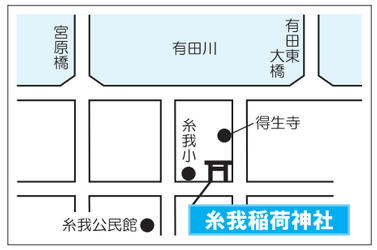
稲荷神社と狐（きつね）の関係

ちなみに、稲荷神社の境内に狐の像などをよく見かけますが、稲荷神社の神様と思っておられる方もいるのではないでしょうか？お稲荷さんの象徴である狐は「倉稲魂神」の“お使い”であって、神様ではありません。ではなぜ狐なのでしょうか？

これは、「倉稲魂神」は、本来五穀をつかさどる神として崇（あが）められてきました。秋の収穫の際、黄金に実り垂れ下がった稲穂が狐のしっぽに似ていて、そこから結び付いたという説などがあります。

事前にこのような知識があれば、その場所を訪れた際の感動もひとしおですね。

ふるさと再発見として、糸我稲荷神社を訪れてみませんか？



糸我稲荷神社

■住所／糸我町中番329

■電話／88-7093

お稲荷さんのお使い「狐」

社前鳥居に上がっている額「本朝最初稲荷大神社」

白河上皇が駕籠を止めて休憩したと記録される石碑

広告